

## 平成19年度静岡県高等学校新人レスリング大会の報告

団体の部 21年ぶり優勝 沼津城北高校おめでとう

平成19年11月3・4日の両日新人レスリング大会が焼津水産高校で行われました。

1日目(3日)は学校対抗戦に7校が出場した。第1試合より熱い戦いが繰り広げられた。本年度は各チームもベストメンバーを組める状態ではなく、選手のやりくりで苦戦していた。混戦を制したのは、個人戦3回級で優勝者を出した沼津城北高校(21年ぶり)が優勝した。今大会第2シードの修善寺工業高校は、チーム力では勝っていたが焼津水産高校の粘り強い戦いに惜しくも敗れた。その焼津水産高校も3位決定戦では、焼津中央高校の軽・重量級の試合で粘り強さを発揮できず負けた。今大会第3シードの飛龍高校は1回戦稲取高校の試合ではポイントゲッターが着実に勝った。準決勝は、焼津水産高校との戦いであったが、軽量級3回級で勝負を決めた。各高校とも来年の県総体では選手強化を図りベストメンバーで戦えるチーム作りをして欲しいと思う。

2日目(4日)の個人戦は、50kg級決勝以外では熱い戦いが見られなかったのが残念であった。これも各階級とも少年少女時代のレスリング経験が個人の競技力に大きく左右するものと考えられる。しかし、内容的に際立つものが見られなかつたので各選手とも将来を見据えて欲しいと思う。危険やリスクを負わない戦いの末、クリンチ勝負が目立った120kg級などは技術の向上を図って全国で優勝して欲しい。荻原、中野、谷田選手は全国上位を目標にした戦いをして欲しい。青木、小林、石垣選手は体力の向上を図り小刻みにポイントを取るレスリングをして欲しいと思う。大技のレスリングスタイルは見る人にとっては面白いが、大きな大会になれば選手の読みや反射神経がいいので自滅することが多々ある。小川選手はスピードの強化に専念すれば伸びると思う。山本、廣瀬選手には攻撃力の強化を図り全国大会上位を目指して欲しい。

結びに、目標設定が潜在能力を引き出す。

理事長 佐々木 禎